

①. 2023年度 取り組んだこと

1)内容

テーマ「子どもの居場所づくりと体力アップのバドミントン教室」

2)概要

学校週休2日制の実施に伴い、「休日の子どもたちにどう過ごしてもらうか」を検討し、小1～小3を対象に週に1回、いろいろなスポーツを楽しんでもらえる「キッズスポーツ」を実施して20年。数年後、小4以降を対象にバドミントン教室を実施。現在小3～小6の「キッズバドミントン」、中1～中3の「ジュニアバドミントン」をテがけている。

3)実態・課題

両方併せて2023年度は延べ1129人の参加があった。「スポーツを楽しむ」という理念を共有できる保護者もスタッフとして参加してもらっている。保護者スタッフは自分の子どもが卒業すると離れていく傾向にあり、指導者・スタッフの拡充が課題で、今後につながる人材の育成が求められている。

4)課題解決に向けて

今年度から高校生がスタッフとして活動に参加、ジュニアの指導に協力してくれている。ジュニア参加者が部活動と重ならない時はキッズの相手をしてくれることも増え、小中学生の交流の場となっている。また、ジュニア経験の大学生が指導者として顔を見せてくれるケースも出てきた。

②今年度取り組みたいこと

1)キッズバドミントン、ジュニアバドミントンの継続

2)中学校部活動(バドミントン)の支援継続

3)地域と学校の連携強化。地域の活動に中学生が積極的に参加できるようにスポーツ協会、学区体振、自治会、コミセン等に働きかける。

4)家庭菜園仲間に声を掛け、「ちゅうずこども食堂」に季節の野菜を届けることができないか提案、実現したい。

1. 2023年度 各委員が社会教育委員の視点で取り組まれたこと

1) 内容

テーマ（目標）「地域学校協働活動～子どもの読書活動推進計画の実践～」

2) 取組の概要

- ★子どもの読書活動推進計画を学校現場で実践しながら、子どもたちに本の楽しさや、本にふれる大切さを実感してもらう取り組みをすすめました。
- ・毎週木曜日の朝に行う読み聞かせには、子ども園時代からのボランティアをされている方が、子どもの入学に合わせて、小学校での活動にも参加。また、その活動が口コミで広がり、少しずつ仲間が増えています。
- ・野洲市社会福祉協議会との連携で、読み聞かせボランティアをやりたいという地域の方をご紹介いただき、活動につながっています。
- ・ボランティアの仲間が増えることで、読み聞かせを通じて、子どもたちがいろいろな大人に出会う、その人が選ぶさまざまな本に出会うことができています。
- ・学校の昼休みを利用して、サロンを開催。子どもたちが、普段読む機会が少ないジャンルの本を身近に感じて、楽しめる活動（例えば、お菓子のひみつやトリックアートの世界など）の場づくりをすすめました。
- ・地域にお住いの司書ボランティアさんとして図書室を整理してくださっているので、子どもたちへのブックトークや、ボランティアミーティングへの参加もお願いしています。



司書ボランティアさんのブックトーク



お昼休み時間の「しのっ子サロン」



長休み時間の図書室

2. 実態・課題や取組へのリサーチ等

- ・親も子どもゲーム世代の昨今、読書離れが懸念されますが、休み時間や昼休みに図書室をのぞくと、子どもたちの本を囲む姿がいつもあり、ホッとしています。
- ・ボランティアのみなさんは、「共働きなどで忙しいご家庭も多い中、親御さんに読書への意識づけや推進は難しい時代。せめて、学校では、子どもたちに、できるだけ本を楽しんでもらおう！そのためにできることをやろう！」という考えのもとで活動していただいています。
- ・子どもの読書推進計画の存在をご存じない先生方も多く、機会があればお伝えしています。ただ、計画の認知度は別にして、学級文庫の工夫がされているクラスも多く、また、各クラスのほとんどの先生方から、「としょかんボックス」が大変助かっているとの声を耳にします。

3. 取組への工夫やアイデア（ビジョン・システム・マネジメントの工夫等）

- ・常にボランティア自身が楽しむことを忘れないように運営しています。（学校での打ち合わせ、ライン会議、ランチミーティングなど、コミュニケーションを大切にしています。）
- ・活動のプロセスを大切にしています。何のために、やるのか。この活動で、子どもたちにどうなってほしいのか。また、子どもたちはどんなことにこまっていて、どんな支援が必要なのか…などの話し合いを重ね、実践につなげるようにしています。年齢層の幅が広く、意見も様々ですが、みなさんが受け止め合う姿勢の中で、互いに気づきや学びを得ながら、活動しています。その原点には、みなさんが「子どもたちの喜ぶ顔が見たい！」という同じ気持ちがあり、お互いの想いを大切にしているので、その空気感がそのまま子どもたちにも伝わればと思います。

4. 得られた成果

- ・小さなグループの小さな活動ですが、この指とまれ方式で集まった仲間が、一緒に子どもたちのことを考え活動していく。めざす地域学校協働活動の事例の一つでもあり、読書活動推進計画の実践の一つにもつながっています。
- ・子どもの学力低下やゲームやネット依存を心配され、低年齢からの子ども読書に関心を持つ若い世代の保護者さんが増えてきたようにも感じます。（ニュースやネット情報の影響もあるかもしれませんが）。ブックスタート事業や園での取り組みの効果も少しずつですがあるのではないのでしょうか。学校でも、保護者ボランティアさんを通じて、読み聞かせに関心のある方の問い合わせが増えてきています。

5. 今後の取組の改善点

- ・社会教育委員会での情報をもとに、学校や地域協働活動に反映できないかを模索していきます。
- ・昼休みのサロンは、現在、読書活動の推進が主ですが、今後、スポーツや音楽など、地域の方の力を活かして、子どもたちがさまざまな体験や出会いができる機会を増やす予定です。

2023 野洲市社会教育委員会 各委員の活動報告(様式)

2024 年 6 月 27 日(木) 10:00～

発表者氏名 木村 恵理

1. 2023 年度 各委員が社会教育委員の視点で取り組まれたこと

1) 内容

テーマ(目標)「すべての人が生きがいを持って暮らせる地域をつくります」

2) 取り組みの概要

・中主中学校とコラボして「おたがいさま」と「少しのおせっかい」が出来るまちづくりに取り組む

2. 実態・課題や取組へのリサーチ等

・社協の事業利用者は地域とのつながりが希薄な方が多く、あったかい気持ちを届けたい

3. 取組への工夫やアイデア(ビジョン・システム・マネジメントの工夫等)

・ボランティアの方が作成された消しゴムハンコを活用し、中学生(チュッピーコミュニティサークル)に夏のお便りと年賀状の作成をお願いした

4. 得られた成果

- ・事業をとおして届けた方に感想を聞き、中学生にありがとうメッセージを届けることで「おたがいさま」と「少しのおせっかい」につながる取り組みになった
- ・チュッピーコミュニティサークルでお弁当作りをされ、その際に「利用者の方に届けてもらえますか。」と声をかけてもらい利用者に届けることが出来、継続的なつながりにつながった

5. 今後の取組の改善点

- ・令和 5 年度は先生との打ち合わせで事業を実施したが、今年度は取り組みについて生徒も含め話し合いをする



※チュッピーコミュニティサークルは、地域と中主中学校が
つながり、ボランティア活動など様々な取り組みをとおして
ともに地域づくりを進めていく活動です。

2024年 6月 27日（木）10:00～

発表者氏名

西川 典子

1. 2023年度 各委員が社会教育委員の視点で取り組まれたこと

1) 内容

テーマ（目標）「 家庭・地域の教育力向上

～コミュニティスクールに関わって～ 」

2) 取組の概要

- ・第3次生涯学習振興計画の策定にあたり、内容の検討を行った。
- ・中主中学校コミュニティスクールへの参画を通して、学校・地域・家庭が連携協働して地域の教育力向上に努めた。

2. 実態・課題や取組へのリサーチ等

- ・市社会教育委員会会議で、社会教育委員同士で意見交流した。
- ・第3次生涯学習振興計画の策定にあたり、意見を述べた。
- ・中主中コミュニティスクールに関わり、中主中の課題について話し合いに参加した。また、地域学校協働活動として、学校を核とした地域作りを進めるよう活動した。

3. 取組への工夫やアイディア（ビジョン・システム・マネジメントの工夫等）

- ・月1回定期的にコミュニティスクールに関わる者が集まり、環境整備活動やチュッピーフェア等の取組を計画・活動した。
- ・学期に1回程度、子育て悩み相談を計画・実施した。

4. 得られた成果

- ・子どもが家族や親以外の大人との関わりをもつことで、社会性を育てることができた。
- ・幼小中の環境整備作業の案内などを、中主学区各種団体、保護者、地域住民の参加を呼びかけた。新たなつながりもでき、地域住民も地域の学校園という気持ちで子どもたちを見守っていただいている。日常の見守り活動につながってきている。

5. 今後の取組の改善点

- ・コミュニティスクールの理解を深めるために、継続的に意見交流できる場をもつことが大切である。今後も積極的に参加し、世代を越えてつながりを深められよう努めたい。
- ・既存の組織を活用し、さらに子どもも保護者・地域住民も多様な人との交流が図れるようにしていきたい。
- ・既存組織がコミュニティスクールにどのように関わり、どのような役割を果たすか、明確にし、有効な活動となるようにしていく。
- ・家庭の教育力の回復をめざすために、中主学区の幼小中一貫で、読書活動を今まで以上に進めていく。

1. 2023年度 各委員が社会教育委員の視点で取り組まれたこと

1) 内容

テーマ(目標)「 地域・団体の中で派生する、無意識の思い込みと人間関係の断絶 」

2) 取組の概要

人との繋がり希薄化、年齢層における価値観の相違等、これからの地域づくり、組織づくりで様々な弊害が生み出されることが予想される。

また、多忙社会であるが故に、個々の思い込みも増幅し、他者を傷つけることも拡大していくと考えられる。そうした視点を、アンコンシャスバイアスやマイクロアグレッション視点から、住民向けの意識改革を考えて見た。

2. 実態・課題や取組へのリサーチ等

行政では、実態調査等がよく行われるが、何を知りたいのか、どんな方法で明らかにしたのか、今日までは、全国的に行われた調査等を活用しながら調査結果を報告しているが、必ずしも求める情報でないことが多い。

「意識や実態調査をしながら啓発する」必要性を効率的に考えることも必要ではないか。

3. 取組への工夫やアイデア(ビジョン・システム・マネジメントの工夫等)

・地域や団体の組織づくりの中でも、誰かの思い込みによって役員が決まり、目的があっても「目標」の無い地域・団体、システムも個々の個性や強みを生かしているかと問うと形式的、マネジメントも、やらされ感で終える役員の一年。今日の若い人々は、目標や主体性を尊重しない組織には、否定感しか生まず、次代の担い手は育たない。

・「受容」と「託す度量」の無い組織からは何も生まれず、衰退していく地域・団体となるだろう。持続可能な地域・団体となるためには、今日までの固定観念や思い込みを見直し、時代の変化に応じた、ビジョン・システム・マネジメントが求められる。

4. 得られた成果

・野洲市では、そうした部分を担う行政部署も無く、実現していないが、某町では、地域や団体の持続可能な組織、まちづくりをテーマに、各自治会でワークショップを実施し、アンコンシャスバイアスやマイクロアグレッション視点から住民向けの意識改革を進めている。

・気づき・考え・具体的実践のまつづくりにも有効であることと、次代の地域の担い手づくりに意識改革が進む自治会も出現してきた。

5. 今後の取組の改善点

・地域や団体には、キラリと輝く発想や行動力を持つ住民は多く存在する。行政がそのことに気づき、行政組織の協議会や審議会等は、口だけの肩書き重視の同じようなメンバー、思い込みで発言する委員等をからの一新が必要であろう。また、行政自らの意識改革が必要。

無意識の中で起こる人権侵害の可能性

【参考資料】

アンコンシヤス・バイアス (unconscious bias) 《無意識の思い込み・偏見》

アンコンシヤス・バイアス(無意識バイアス)とは、自分自身は気づいていない「ものの見方やとらえ方の歪みや偏り」をいいます。その人の過去の経験や知識、価値観、信念をベース(潜在意識)に認知や判断を自動的に行い、何気ない発言や行動として現れます。自分自身では意識しづらく、ゆがみや偏りがあるとは認識していないため、「無意識の偏見」と呼ばれます。

【アンコンシヤス・バイアスを生み出す要因】

1つ目: 自分を守ろうとする「エゴ」: 自分を正当化したり、良く見せたいと考えたり、自分にとって心地よい状態を保ちたいという、自己防衛心、自己保身の表れでもある。

2つ目: 「習慣や慣習」: 慣れ親しんだ慣習や当たり前、常識だと思っていたことが、時代に合わなくなったり、多様性が増す中でずれが生じているにもかかわらず、それに気づかないままに行う言動が、違和感を生んだり、ストレスを与えることになる。同質性が高く暗黙のルールが強くある組織ほど気をつける必要がある。

3つ目: 「感情スイッチ」: その人特有の「囚われやこだわり」や「劣等コンプレックス」、また不安感情を呼び起こすポイントを意味する。感情スイッチを刺激されると、人は本能的に「自己防衛反応」をとったり平静では居られなくなります。自分を守るために、他者や現実を客観的に見ることが出来なくなったり、時には攻撃的な言動をとることがあります。

主に「決めつけ」や「押しつけ」というアンコンシヤス・バイアスが起因して、地域・職場やそれ以外の人間関係にも影響を及ぼすことがあります。

- ・「普通“そうだ”、“たいてい”“こうだ”という価値観の決めつけ
- ・「どうせダメ、きつとムリ・そんなことできるわけない」などの能力の決めつけ言葉
- ・「そんなはずはない、こうに決まってる」などの解釈の押しつけ言葉
- ・「こうあるべきだ、こうでないとダメだ」という理想の押しつけ言葉

※地域・職場での問題例

- ・人間関係が悪化する・組織・地域風土が悪くなる・風通しのいい対話がなくなる・ハラスメントが生まれる
- ・地域では自治会離脱、職場ではコンプライアンス違反がおこる・イノベーションがうまくい・ダイバーシティが推進されない。地域・職場の雰囲気ギスギスする

※人間関係

- ・ヤル気なくなる・自分を過大評価/過小評価する・ネガティブになりがちになる・イライラが増える・言い訳が増える
- ・挑戦できなくなる・成長の機会を失う・遠慮がちになる(家庭での子育てでもとても大切です)

※大切なこと: アンコンシヤス・バイアスは日常にあふれていて、誰にでもあるものです。
ただ、あることそのものが悪いわけではありません。

問題なのは、気づかないうちに、「決めつけ」たり、「押しつけ」たりしてしまうことです。
アンコンシャス・バイアスがある、ということ意識し行動することでよりよい家庭、職場や社会の実現に近づきます。
 家庭・地域・職場にあふれている「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み・偏見）」に気づくこと、真の多様性ある家庭・地域・職場への第一歩です。

【実権者のもつ「カ」に留意】

「カ」をもっている人	「カがない」と思っている人
自分のもつ「カ」を自覚していないので、 非難される理由がわからない 口癖・態度は・・・ それぐらいのこと？何が問題？ どうして気にするの？ 自分は悪くない 相手にも問題がある	「カがない」と思っている人 相手のカに恐れや不安をいだく 何気ない言葉や態度に敏感に反応する 「根底に尊重されたい・対等に扱って欲しい」 という願いがある 口癖・態度は・・・ どうせ分かってもええない 軽く扱われている気がする 決めつけられて不快 その態度がストレス

役割が持つ「ポジションパワー」無自覚なままマイクロメッセージ【小さなメッセージ】

眉をひそめる・腕組みをする・相手を見ずに話を聞く・軽く扱うような発言をする

「個人への影響」	「職場への影響」
モチベーションの低下 無気力 思考停止 疎外感・孤立感の増加 職場へのあきらめ 遠慮がちになる イライラやストレスが増える 挑戦が出来なくなる	職場の停滞感 コミュニケーション不全・相互不信 離職率の増加 ハラスメントの増加 個人や組織のパフォーマンスが低下 活力低下 イノベーションが生まれにくくなる

様々なアンコンシヤス・バイアスの概要と具体例

No	バイアス名	概要	事例
個	※ステレオタイプ バイアス	人の属性や一部の特性をもとに《男女・国籍・地域・集団・宗教・価値等》をもとに先入観や固定概念で決めつけてしまう【他者をラベリング・カテゴライズして認識する心理】	・【肯定的】・自分の意見に素直に従う部下を優秀だと評価する ・日本の女性は奥ゆかしい・遠慮深い・ラジカル人はサッカーが上手い ・【否定的】・あの地域の人はガウが悪い《部落差別》 ・私は女性だから、数学が苦手である」というような思い込み ・「大阪のおばちゃんはおしやべりでヒョウ柄が好き」 ・裁判官は男性・高齢者にITは向いていない・外国人は自己主張が強い
組	※正常性バイアス	人が自己を文化的ステレオタイプに沿って定義することを言う。 自分にとって都合の悪い情報を無視しようとしたり、過小評価したりする。問題があっても、「私は大丈夫」と思い込んでしまう 危険が差し迫っていても正常の範囲だと認識し、心の安定を保とうとする状態	・地震や火災、事故等の自分に降りかかるトラブルや困難について、自分には起こらない、自分は助かると思ってしまう ・仕事の場合は、課題が拡大し手がつけられなくなる ・自分の部署には関係ない・たまたま今回起こっただけ
個	※確証バイアス	自分の考えや経験値を正当化する情報ばかりを探してしまふ 仮説を反証するような情報（都合が悪い情報）は無視したり集めなかったりする状態	・「大したことではない」「すぐに解決する」という思い込み ・一流大学出身である部下の働きぶりに問題があったとしても、上司が確証バイアスを持っていれば、人事評価で良い評価を与えてしまう ・長時間働かないと成果が出ない ・「ケーシングザーは仕事より家庭を優先する ・「1万円の値札に二重線が引かれ「5000円」と書かれた商品を「お得だ」と思い購入した ・「成績の良い人ほど、自分の能力を低く見積もる」「成績が悪い人ほど、自分の順位を高く見積もる」
	認知バイアス	良かれと思ってやった行動が、相手に迷惑をかける	・寝坊して会議に遅刻したとき、「1時間30分後に到着する」と言っていたのに、30分前の1時間後に到着した場合、遅刻したにもかかわらず、少しポジティブな印象を持たれる
	メタ認知バイアス	メタ認知能力が低い人ほど、自己評価が高くなってしまふ認知能力 【メタ認知】自分を客観的に見る能力 自分の都合の良いように解釈する	・「自分は大丈夫」と過信する ・自分の判断だけで物事を進める ・定められたルールを無視して行動する ・自分の価値観を基準にして偏った評価をする・ことの重大さに気づいて慌てる
	自己中心性バイアス	失敗した対象を見ずに、成功した対象のみを基準に判断してしまうこと。	・「あの有名選手が愛用している○○」「○○先生が監修している化粧品」と聞くと商品がより魅力的に見える
	アンカリング効果	物事が起きたあとで、まるでそのことが予測可能だったと考える心理的傾向 同じ意味を持つ情報であっても、焦点の当て方によって、人はまったく別の意思決定を行うという認知バイアスのこと	・「部長の言うことは全て正しい」、「課長の言う通りにおれば問題ない」と権威者を信じてしまう
	後知恵バイアス	権威のある人の言うことは、間違いないと思ひ込む 地位や肩書きによって、歪んだ評価をしてしまう心理メカニズム	
	権威バイアス	大勢の人が選択している判断は、個人の判断よりも正確である	
	バンドワゴン効果		

組	※集団同調性バイアス	自分の意思無く、周りと同じように行動しようとする 集団に属し続けることにより、周囲への同調傾向や少数派への圧力を自然と強めてしまう	・多数派の意見しか取り入れられず、少数派の意見は例外と捉えるため、より良い決断は出来ず、職場のイノベーションを拒む要因となる ・会議は満場一致が原則・コンプライアンス違反・ハラスメント的な指導が状態化しているが、誰も意見しない
個	ハロー効果	ある対象を評価するときに、目立ちやすい特徴に引きずられて他の特徴についての評価がゆがめられる現象 【相手の一部の長所ですべてがよく見える】 ・その人の持つ一部の特徴が、その他の部分にも良い影響を与える ・その人の持つ一部の特徴が、その他を評価する際に悪い影響を与える	・大手広告代理店の施策なのだから正しい ・受賞歴のあるデザイナーだから素晴らしいデザインである ・著書が多くあるライターだから文章がうまい
個	※慈悲的差別	自分より立場が弱いと思う他人に対して、本人に確認せずに、先回りして不要な配慮や気遣いをする事。	子どもがいる女性には、負荷の高い業務は任せない ・気が利き職場を明るくする社員は好まれるが、評価・昇進の対象ではない ・慈悲的性差別：女性やマイノリティに対する思い込みにより、無意識的な性差別を行ってしまう
	ジェンダーバイアス	「男らしさ」「女らしさ」を基に男女の役割を考えることや、性差に対して差別や偏見を持つこと	・男性は外で働き妻子を食べさせるのが当たり前 ・女性には家事をこなす子どもを育て、両親の介護をしてくれるのが役目 ・女性には社会性に乏しく理性的でない ・女性には生産性のない仕事に従事しているから低賃金でも当たり前 ・女の子はピンク、男の子は青
組	自信過剰バイアス	過去の成功体験にとらわれ自分は仕事が出来るという思い込み 過去の自分の意思決定を正当化し、自分の立場に固執したり、損失が明確でも引けなくなる	・多額の投資をした不採算プロジェクトが撤退できない
	親和性バイアス	自分に都合の悪い情報を無視したり、それを過小評価したりしてしまう心理的な特性	・自分の母校を卒業した部下や同僚には、繋がりのない他校の出身者よりも、高い評価をつけがち
	リスク認知バイアス	リスクを過大あるいは過小に評価してしまうことで、合理的な意思決定が妨げられ、結果として不合理な政策決定となる	・「O型はおおざっぱ」「A型は几帳面」・男性は理系」「女性は文系」「教師はまじめ」 ・「保育士や看護師は女性の仕事」「営業職は飲み会が多い」
	ゴースム効果	他者から期待や評価を得られなくなると、成果や成績が下がってしまう心理的現象	・・・マーケティングに利用できる心理
	ピグマリオン効果	相手に期待すると、その期待通りになるという心理効果	
	プライミング効果	人が最初に見たものから刺激を受け、無自覚なまま行動を起す	
	ザイアンス効果 (単純接触効果)	最初は興味がなかった物事や人でも、何度も接するうちに、好きになっていく心理現象	

組	※アンソニェテルング 効果	慣れ親しんだ考え方やものの見方に固執優先してしまい、 多角的な視点を見失い、他の視点に気づかないか、別の 考えを無視する傾向	・自分なりの考え方を持っていると、例えば他の答えを引き出す能力があるにも 関わらず、他の可能性を無視してしまう ・過去の成功体験にこだわる・どんなに良いプロジェクト案も前例が無いと許可 されない 成功した人や企業の経験ばかりに注目し、その他多くの失敗事例を顧み ない行為
	生存者バイアス	失敗した対象を見ずに、成功した(生存した)対象のみを 基準に判断してしまふこと	
	内集団的バイアス	身内びいき・身内)外者意識 同じ価値観、同郷、等を能力以外に過大評価する心理	
	自己奉仕バイアス 【責任転嫁】	成功したときは自分自身の能力、失敗したときは外部環境 ・外部環境だと思いつく	
	感情バイアス	人間関係：好きな人がミスしても寛容、嫌いな人には厳し く当たる。憧れの人の意見を正しいと信じる。 購入における意思決定： 幼少期から愛着のある食品を買 う。性能が劣っていても好きなブランドを買う。 ビジネス： 過去の成功体験に依存した意思決定。未知へ の不安や恐怖から挑戦できない。	
	現状維持バイアス	現在の状況より好転すると分かっている、変化を避け現 状維持を選ぶこと	
	属性バイアス	性別や学歴、出身地など、特定の属性に対する無意識の 先入観。	
	ウインザー効果	当事者よりも第三者が発言した情報の方が信頼されやす いという心理効果	
個	※インボスター症候群	自分の能力や実績を過小評価してしまう	上司は推薦するが、私にはリーダーは無理。どうせ上手くいかないから 「自己肯定感が低い状態」

【アンコンジヤスバイアスとマイクロアグレッションの違い】

マイクロアグレッションとは、一般的には「小さな攻撃」と直訳され、アンコンジヤスバイアスが言葉や行動として表面化したものを指します。見た目や職業、肩書きなどで判断し、意図せず相手を傷つけてしまう可能性があるので、日常に潜んでいます。日々の何気ない会話の中で、発した言葉やとった行動が、受け手によっては侮辱や見下されている、否定されていると感ずることがマイクロアグレッションであると考えます。マイクロアグレッションとアンコンジヤスバイアスは似ているところもありますが、一番の違いとしては「思い込みが表面化しているか否か」です。アンコンジヤスバイアスは、今までの経験や環境から「女性＝家庭に入る/男性＝働く」など、無意識に『思い込み』をしていることを指します。この思い込みが言動として表面に出て、意図せず人を傷つけてしまうことが、マイクロアグレッションとなります。

マイクロアグレッション(Micro aggression)《小さな・ささいな攻撃:日常的差別》

- * 意図的かどうかに関わらず、ステレオタイプや偏見に基づいて、マイクロアグレッションを侮辱するようなメッセージを送る発言や行動
- * 無意識な偏見を他者から指摘された時等に感情的になったり、自己の欲求不満の処理の仕方として出てくる言動等
- * 自分と異なる人に対する無意識の偏見や無理解、差別心が含まれている

① マイクロアサルト(Micro assault: 攻撃×意識的、無意識、無自覚な攻撃・侮辱的言動)

行う本人は、それがどれほど深刻な影響を及ぼすかを理解していない場合もある。人種や民族、障害者、性自認を揶揄(やゆ)したり貶(おとし)めるようなジョークは、マイクロアサルトの一例である。「冗談を言っただけだ」弁明する人もいるだろうが、彼らのバイアスはこのやり取りの中で顕在化し、有害なステレオタイプを永続させることに繋がる。

- ・能力や資質を人種に関連づけて評価する
- ・二級市民(よそ者)扱いする
- ・文化・風習・宗教を否定的に評価する
- ・犯罪者、犯罪者予備軍扱いする言動
- * 人種に関して明示的な軽蔑を含み、特定個人に狙いを定めて暴力的な言動を行ったり、攻撃的な環境をつくる。蔑称で叫ぶ、避ける、差別目的の行為。

② マイクロインサルト(Micro insult: 侮辱・日常的な侮辱)

失礼で無神経なコメントによって、その人の人種的遺産やアイデンティティを軽んじる行為を指す。外見で、あの人は頭が悪いだろうと決めつけたり、特定のグループや人々を指して、モラルがないとほのめかしたりすることもこれに当たる。また、母語が異なる理由で、仕事内容を正しく理解できていないと決めつけたり、そこで当たり前とされている行動を取らないため、そのグループにそぐわない、と決めつけたりする行動もマイクロアサルトに含まれる。

* 無礼で気遣いのないコミュニケーション、人種的出自や文化の価値を貶める。

③ マイクロインバリデーション(Micro invalidation: 無価値化)

特権階級にない人の経験を信用しない、あるいは最小限に抑えようとするものである。

- ・ 日常に経験する最も顕著なマイクロアグレッションとも言われている。多くの人が学校や職場で、誰も自分の話を聞いてくれなと感じたり、部屋の中で自分が、周りからは見えない存在のように感じたりする経験。

* 有色人種の心理状態や考え方、感情、経験を排除、否定、無化。

【関連する差別性】

適応機制による感情の支配 (人間が持ち備える欲求不満の処理方策)

利害・優遇・逆差別意識等によるレイシズム意識

(レイシズムとは人種間には根本的な優劣の差違があり優等人種が劣等人種を支配するのは当然であるという思想、身体的と考えられるものに結びついていく)

善意・悪意が混同する寝た子を起こすな意識

「ケガレ思想」の常態化: (日々の生活に常態化している三不浄: 死・血・産)

「ステイグマ」烙印・決めつけ: コロナ差別で使われた心理

比較幸せ論 (私たちはあの人のような人間ではない: 所属観・同胞意識)

当事者責任論 (例: 部落拡散論的価値観)

傍観者・無関心

2024年 6月 27日（木）10:00～

発表者氏名

鷺田新介

1. 2023年度 各委員が社会教育委員の視点で取り組まれたこと

1) 内容

テーマ(目標)「交通事故のない社会を目指して 住んでよかったまち 野洲市」

2) 取組の概要

野洲市地域の通学、通勤箇所では危険な場所の把握、周知をしていく中で
住みよいまちづくりを目指していきたい。

2. 実態・課題や取組へのリサーチ等

『ハインリッヒの法則』アメリカのハインリッヒ氏が労災事故の発生確率を調査したもので、1つの重大事故の背後には29の軽微な事故があり、その背景には300の異常が存在するというものです。「1:29:300の法則」とも言われています。地域の方と危険箇所について話すことにより、実際の「ヒヤリハット」がみえてきます。時間帯や曜日、天気によって車の込み具合や通学路の危険箇所が変わってくることをリサーチし、重大事故を未然に防ぐ取り組みをしていきたいと思います。

3. 危険箇所の把握

駅前のロータリー(北口、南口)学校通学路、中山道の細道(朝の7時～9時一方通行)
通学路になっていない箇所の把握、危険箇所。横断歩道。
スクールガードさんや民生委員さんの実態把握。

4. 得られた成果

車の運転者が朝7時～9時の一方通行を知らずに通ってしまっている(抜け道と思っている)
かなりのスピードも出てきて危ない。事故が起こってからでは遅いので対応を考えたい。
逆走もあるので危険。

5. 今後の取組の改善点

通学路の見直しや把握、地域委員さんや自治会の方と協議を重ねていきたい。

みんなが「住んで良かったまち」「住んでみたいまち」「住み続けたいまち」と実感できる野洲市の原動力が「市民活動」としている中で、点と点を繋ぐ『道』を確認して『線』として野洲市をより良いまちにすることが大切だと思います。バスの利用者数やルート改善、生涯学習としてのまなびの場の大きな役割である図書館をもっと有効活用出来ればと思います。もっと人が集まる場所・・・キッチンカーを呼ぶ。親子教室を増やす。こども支援や高齢者の方も利用しやすい場所となるようにしたい。

野洲市全体として昨年度からスタートしました『学校運営協議会』進め方や内容、協議会委員さんが戸惑いながら模索していることと感じます。(私自身も)

7月2日(火)滋賀県庁でコミスク推進事業研修会に参加予定です。

1. 2023年度 各委員が社会教育委員の視点で取り組まれたこと

1) 内容 所属している文化協会で行ったこと

テーマ（目標）「文化芸術祭を通じて、市民の文化芸術への関心を高める」

2) 取組の概要

市と文化協会の実行委員会形式により開催し気軽に舞台芸術・展示・お茶会に触れる機会を創出

実態・課題

文化協会加盟団体が日頃の成果を発揮し市民の文化芸術への関心を高められたと思います。コロナ後は毎年2団体増加していますが、以前と比べ、会員も減少し高齢化が進んでいる参加者が固定化してしまっていることと、展示部門は、著しく団体が減少し作品展示数もかなり減少し・お客様を満足させるまでに至っていない。

3) 今後の取組の改善点

文化芸術祭は、文化協会会員の文化活動における成果の発表であるため、参加者の固定化は当然の結果です。今年度は、3日間開催されますが、3日間連続した日が確保できないため展示・お茶会に関しては、日によって開催されないこともあります。

できれば、文化協会加盟団体の発表だけでなく、多くの野洲市の市民活動団体にも参加していただき、地元の野洲高校茶道部にも参加していただけるように検討できればと思います。

文化芸術活動は、生涯学習政策の対象として大きな位置を占めていると同時に、文化芸術振興は、文化政策の対象領域であるので、「生涯学習の推進」という目的の生涯学習政策と、「文化芸術の振興」を目的とする文化政策を所轄する行政部局が異なっています。文化芸術活動は教育委員会で、文化芸術振興は、首長部局。しかし、利用者側から見れば生涯学習活動と文化芸術活動の両者は区別されずに密接に絡み合っていると考えられます。

市と文化協会が協力し、市民に広く文化・芸術に触れる機会を創出し続けることが大切ですが、文化スポーツ振興課と文化協会だけでなく、教育委員会と文化スポーツ振興課と文化協会が連携して文化芸術祭を開催しなければ、例えば、野洲高校茶道部に芸術祭に参加をお願いすることは難しく、マンネリ化した芸術祭を変えることは難しいと考えます。